

京の里山再生 — 理念と技術 —

2014
9/23 講座
(tue)
13:00 ~ 17:00

場所：京都府立大学 大学会館 2階 多目的ホール

定員：150名(先着) 講習費：1,000円 ※当日、受付にて
お支払いください。

【テキスト】●日本生態学会編(2010)自然再生ハンドブック、地人書館。(会場にて販売)
●日本生態学会編[鎌田磨人・白川勝信・中越信和 責任編集](2014)里山のこれまでとこれから
http://www.esj.ne.jp/esj/book/ecology_7.pdf (無料ダウンロード)

エクスカージョン (フィールド視察)	①	9/22 宝が池・深泥池周辺 (mon) 13:00-17:00	定員 30名
	②	9/23 上賀茂周辺 (tue) 9:00-11:00	定員 20名

*エクスカージョンへの申し込み・参加は23日午後の講座参加者に限ります。

長い歴史、多様な文化・伝統を支えてきた京の里山。近代都市としての発展・グローバル化に伴う放置、ニホンジカによる食害やナラ枯れの蔓延によって、急激に劣化してきている。京の里山を再生し保全していくこと、それは、日本の文化・伝統の継承に繋がる重要な課題だ。今回の自然再生講習会では、宝が池・深泥池周辺の里山をモデルとして、里山再生の目標設定のあり方、シカ食害やナラ枯れから森林を守っていくための考え方・技術、里山再生を実現していくための協働のデザインとマネジメントについて論じる。

【主催】一般社団法人 日本生態学会 【共催】京都府立大学森林科学科、(公財)京都市都市緑化協会
【後援】京都市、環境省、国土交通省、農林水産省、文化庁(予定)、森林計画学会、応用森林学会、日本景観生態学会

【お申込み】必要事項を明記の上、E-mailかFAXで事務局まで ※件名を「自然再生講習会参加申込」としてください。
(1) 氏名(ふりがな) (2) 所属 (3) 住所、郵便番号 (4) メールアドレス (5) 電話番号 (6) ファックス番号
(7) エクスカージョン参加の有無 (①に参加、①②に参加、②に参加、不参加) 【お申込み締切】2014年9月12日(金)



●地下鉄烏丸線「北山駅」約600m / 「北大路駅」約800m ●市バス：4番「北園町」約300m / 1、32、34、35、205、206番「府立大学前」約350m

【お申込み】 Email: kyoto.satoyama2014@gmail.com FAX:088-656-9134

【お問合せ】 088-656-9134 鎌田 (徳島大学)

Program 京の里山再生

9/23 (tue) 13:00-17:00

進行：野田奏栄 ([公財]京都市都市緑化協会)

- 01 主催者挨拶
鎌田 磨人 (生態学会生態系管理専門委員会委員長)
- 02 京の里山一現状と課題
柴田 昌三・飯田 義彦 (京都大学)
- 03 歴史性に基づく京の里山の再生目標
高原 光 (京都府立大学)
- 04 ナラ枯れを考慮に入れた
里山の健康管理と整備の要点 黒田慶子 (神戸大学)
- (休憩)
- 05 シカ食害による植生への影響評価と
モニタリング手法 加藤 義和 (京都大学)
- 06 シカの食害から里山を守るための技術
高柳 敦 (京都大学)
- 07 宝ヶ池周辺の里山再生に向けた
ゾーニングと計画立案のあり方
長島 啓子・田中 和博 (京都府立大学)
- 08 里山再生のための協働の
デザインとマネジメント
鎌田 磨人 (徳島大学)・野田 奏栄 ([公財]京都市都市緑化協会)
- 09 コメント
1)「京都市の取り組み—四季・彩りの森づくり」
久世 務 (産業観光局農林振興室林業振興課)
2)「今、何をすべきか」竹門 康弘 (京都大学)
- 10 質疑応答 コーディネート：鎌田 磨人 (徳島大学)
応答者：柴田、高原、黒田、加藤、高柳、長島、野田、竹門、森本
- 11 まとめ
田中 和博 (京都府立大学)
- 12 共催者閉会挨拶
森本 幸裕 ([公財]京都市都市緑化協会 / 京都学園大学)

Excursion エクスカーション

※山歩きが可能な服装でお越し下さい。
※適宜、飲みものタオル、雨具等をご準備ください。

22日午後は、宝が池公園子どもの楽園から深泥池までの森林を歩き、京の里山の現場と課題、そして対策のあり方について共有します。
23日午前は、京都大学フィールド科学教育センター上賀茂試験地での里山再生実験による森林再生の状態を見学し、里山再生のあり方を検討します。

9/22 宝が池・深泥池周辺の里山 (mon) 13:00-17:00

集合場所：宝が池子どもの楽園管理棟裏ミーティングルーム
集合時間：12時45分

定員 30名



『京の里山の現状、課題、対策』

宝が池公園周辺の森林は、市民にとって憩いの場となっています。また、隣接する深泥池への栄養塩の流入を緩和することで、生物群集(国天然記念物)の存続を支えてきました。しかし、今、シカ食害やナラ枯れがこの森林を急速に劣化させています。本視察では、宝が池公園子どもの楽園から深泥池までの森林内・林縁等を歩きながら、森林の被害状況や、植生保護・回復のための試行的取り組みの様子を解説します。

9/23 京都大学フィールド科学教育センター上賀茂試験地 (tue) 9:00-11:00

集合場所：叡山電鉄 京都精華大前駅 南側出口
集合時間：8時50分

定員 20名



『京の里山再生実験—ギャップ創出後14年の姿』

京都大学フィールド科学教育センター上賀茂試験地(1926年設置)は宝ヶ池、深泥池一帯に隣接し、かつては都市近郊の里山として機能してまいりました。2000年1月に小面積の伐採による人工ギャップ創出が行われ、里山植生の回復が目指されています。本視察では、尾根、斜面、谷底に設置された実験区3ヶ所を見学し、植生回復状況の差異を確認するとともに、京の里山再生に向けた将来像を検討するための視座を共有したいと思います。

*エクスカーションへの申し込み・参加は23日午後の講座参加者に限ります。